

# 組織目標評価報告書（平成26年度）

部局名： 医学部医学科

目 標	目標の達成状況(成果)及び新たに生じた課題への取組 (部局での検証とそれに対する取組)
<b>①教育領域</b>	<b>自己評価</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成27年度4年生から72週の臨床実習を導入した。臨床各分野の教授、教育担当者に周知し、円滑に開始できる環境を整備した。</li> <li>・国際バカロレア入試を実施し、1名の合格者を出し、入学手続きが完了した。ハンガリーから受託臨床実習生を受け入れた。</li> <li>・融合型教育研究棟は平成27年度から実働することとなり、OSCE、CBTテストの実施を企図している。また、系統解剖実習、法医学実習も本建物で実施する。</li> <li>・図書館から旧栄養学棟の耐震大規模改修が完了し、学生の自主的学習場所として活用され、学習環境を整備した。</li> </ul>
<b>①-1 目標</b> グローバルスタンダードに合致した臨床実習とするため、現行58週を72週に増加させるカリキュラム変更を行っており、それがスムーズに施行され内容の伴った実習となるよう組織的取り組みを図る。  多種多様な人材を求め、かつグローバル化を促進するために、国際バカロレア制度を利用した新規な入試を導入する。また、同様の視点から海外からの特別聴講学生や受託臨床実習生の受け入れを積極的に推進する。  本年度完成予定の融合型教育研究棟によって、客観的臨床能力試験(OSCE)をよりスムーズに行う。また、系統解剖学実習、法医学実習についてもより整備された教育環境を提供する。  図書館から旧栄養学棟の耐震大規模改修を完了し、学生のアクティブラーニングに適した教育環境を提供する。	
<b>①-2 目標とする(重要視する)客観的指標</b> 医師国家試験合格者数、合格率:全国平均を上回る合格率	
<b>②研究領域</b>	
<b>②-1 目標</b> 医学系分野の研究実施体制を改善するため、融合型教育研究棟を活用する。具体的には共同実験室の機能の一部を同研究棟に移管し、研究者にとってより良好な環境で機器の使用をすることを検討する。  基礎的研究力向上のため、融合型教育研究棟に三研究分野の移転を行う。  コンプライアンス研修の実施により、意識向上を図る。	<b>自己評価</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・融合型教育研究棟が竣工し、平成27年度5月から順次移転をスタートする。共同実験室も一部が同施設に移転を予定している。</li> <li>・三研究分野について、平成27年度5月から順次移転をスタートする。</li> <li>・コンプライアンス研修のための解説を担当理事にお願いし、施行した。</li> </ul>
<b>②-2 目標とする(重要視する)客観的指標</b>	
<b>③社会貢献(診療を含む)領域</b>	
<b>③-1 目標</b> 地域医療に貢献できる人材の育成に努めるために、現行では一部学生に課していた地域医療体験実習をより広い範囲で行う。	<b>自己評価</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域医療実習について、受け入れ側の医療機関のご理解のもと、卒業までに全員が体験できるカリキュラムの変更をおこなった。</li> </ul>
<b>③-2 目標とする(重要視する)客観的指標</b>	
<b>【総括記述欄】</b>	
特になし。	